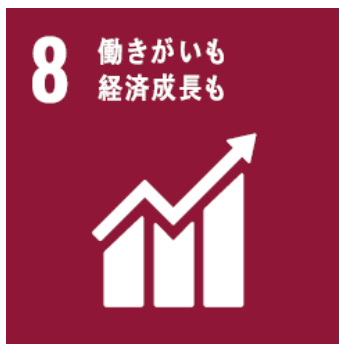


2022年3月17日  
農林中央金庫  
高松支店

「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」で大臣表彰を受賞



農林中央金庫（代表理事理事長 奥 和登、以下「当金庫」）は、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が公表する「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」に選定され、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）の表彰を受けましたのでお知らせいたします。なお、当金庫が本表彰を受けるのは、今回が初となります。

## 1. 本表彰の概要

地方創生の取組みについては、金融機関等の幅広い情報・ネットワークの活用による貢献が期待されており、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局においては、各地域での取組みの参考とするため、金融機関等が地方創生に関与した「特徴的な取組事例」を公表しています。

この度、当金庫高松支店の取組みが、2021年度の「特徴的な取組事例」に選定され、大臣表彰を受けました。

## 2. 当金庫の取組み

### 「スマート農業で『高知のししとう』復活へ～四国電力(株)と農林中央金庫によるししとう生産の取組～」

当金庫では、「価値創造の取組み」として、世の中の社会課題や顧客等の経営課題の解決に向けて様々な取組みに挑戦しております。その解決・達成に向けては、「当金庫が持つ機能、ネットワーク、情報・ノウハウをいかに駆使すれば課題解決できるか」を真摯に考えながら、伴走者として貢献していくことを目指しております。

その中でも、多様な地域関係者(JA・JF・森林組合・地場企業・行政等)と連携しながら、生産者の所得

向上、農林水産業全体の課題解決・活性化に貢献し、地方創生に寄与することは、特に重要な取組みとして位置付けております。

今回表彰を受けた取組みは、四国電力(株)と当金庫の共同出資により、農業法人 Aitosa (アイトサ) (株)の設立を行ったものです。全国有数のししとう産地である高知県において、ししとうの生産量がピーク時の7,000t から 3,000t 弱まで減少しているという課題に対し、四国電力(株)が高知県・高知県南国市およびJA高知県と連携し、ししとう生産とスマート農業を実践するAitosa(株)を設立しました。当金庫は、同社設立にかかる出資に加え、第一次産業における生産から加工・流通までの豊富な情報・ネットワークを活用し、計画実現への支援を行いました。

本法人設立により、産地減衰が進んでいる高知県産のししとうの生産量確保につなげるとともに、雇用創出、スマート農業の実践・横展開によるししとう生産の効率化を期待しております。

当金庫では引き続き全国で地域活性化・地方創生の取組みに挑戦してまいります。

**【本件スキーム図】**



以上

**【本件に関するお問い合わせ先】**  
 農林中央金庫 高松支店 梅林 Tel : 050-3853-6801